

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○	○		○	○				○	○		○	○

企業の概要

社名	株式会社ROC	都道府県	兵庫県
業種	広告	従業員数	11名
事業概要	SNSアカウント運用代行、SNSコンサルティング、WEB広告運用代行		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	別途ルール策定
テレワーク担当部署	サポートチーム
テレワーク対象者	全社員
実施者数	8名
実施日数	月10回以上

テレワークの導入・拡大の経緯

まだまだ少人数の会社ではありますが、

- ・本社が神戸で、営業拠点に東京があること
- ・主婦やフリーランサーが業務委託にいること

から、テレワークを創業当初より推進してきました。社員が集まって会話をするのはもちろん大切ですが、普段の業務の効率化という面では、実施意義が大きく、信頼関係の構築を前提にはしていますが、テレワークは基本的に社員の裁量によって実施しています。

テレワークの概要・特徴

業務効率化はもちろん、通勤コスト、賃貸コスト、空調などの電気代コストの削減のために、在宅や自分が集中できる場所での勤務を認めています。

テレワークでは、社員間の連携をいかに上手にとり、問題なく会社を回していくか。という点が重要だと思っています。そのため、弊社はSkypeやチャットツールの活用を積極的に行い、社員連携を高める工夫を行っています。特にチャットに関しては、世間に溢れる様々なツールを使い込み、分析を行い、常に最適なものを使用するよう、定期的な見直しをかける取り組みを行っています。

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

□経費節減効果

- ・通勤コストの削減:品川と神戸にオフィスはありますが、毎日通勤できる距離にない社員も抱えています。(岡山や千葉の山奥など)能力はあっても遠くて毎日勤務できない人の雇用機会の創出と、1回あたりの通勤費が往復で5,000円を超えることもあり、会社としての通勤コストの削減が実施できています。月の勤務回数8回のうち、オフィス出社を半分として、地方在住社員1名あたり約5,000円×4回=20,000円/月の経費削減に成功。

□多様な働き方を許容することで採用活動が円滑に進み、事業拡大に成功。

- ・設立時2人で始めた組織が、テレワークの導入を全面的に推した採用活動を行ったことで、一年後には9人に増えた(現在は11人)。

□優秀なフリーランスの方の採用に成功。

- ・特定の企業に属するのではなく、様々な企業と付き合いたいフリーランスの方にとってもテレワークが魅力的に映っているようで、現在3名のフリーランサーが所属している。